

MPSニュース情報～日持ちがホームユースの最大の力ギ～

MPSジャパン株式会社 代表取締役社長 松島義幸

コロナ禍の巣ごもりやテレワーク体制の中で身边に花や緑を飾ろうとホームユースの花き販売が伸びている。

また、若い人がインテリア感覚で花きを飾ると言う需要も増えている。ただ、折角飾ったお花が3、4日で枯れてしまう、グリーンも萎れてしまうとなるとお客様をがっかりさせてしまう。(中略)切り花の採花から枯れるまでの観賞期間は、品目、品種によって決まっている。

また、日持ち性を向上させるためには、適切な前処理やバケツ、ハサミなどの十分な衛生管理、保管・輸送における温度・湿度管理をやっていく必要がある。(中略)適切な処理をされた花を低温で出来るだけ早くお客様にお届けすることが基本となる。それには、生産、流通、加工、小売がそれぞれやるべきことを

※切花の「老化」を早める原因

①エチレンガス＝エチレンは植物ホルモンの一つであり、無色透明、無味無臭で常温で「エチレンガス」として切花の老化を早め、エチレン濃度が高まるにつれ、老化が加速し日持ちが短くなる。②糖質の不足＝糖が不足するとエチレンが多く生成され、さらに老化を加速させます。③水揚げ不足＝水の蒸散を防ぎ導管の詰まりを防ぎましょう。

やってはじめて日持ち性が確保されることになる。(中略)ホームユースが伸びている今こそ花きの日持ちが重要となっている。

今、流通の事情で花が滞留したり、サブスクの花の輸送環境など花き日持ちにとって新たな厳しい条件が出てきている。花き日持ち性向上対策の基本に戻ってお客様にお花を楽しむ観賞期間を確保しなければ、折角の新しいお客様を失ってしまいます。

今年は猛暑が予想され、花にとっては一番厳しい季節を迎えていた。(中略)生産、流通、小売の連携で、地味な取組みですが出来て当たり前の最低限の品質確保をしてお客様に少しでも長くお花を楽しんでもらうことが花の消費拡大のKEYとなります。

青年会がフローリスト講習会開催



令和4年7月13日(水)午後5時から組合青年会の主催でフローリスト講習会が開催されました。

講習会は今年2月8日に開催を予定しておりましたが新型コロナウィルス感染症の拡大状況に鑑み一度中止になっていただけに青年会の取組も熱がこもったものでした。講師には石川県の有限会社小西生花店の小西拓先生をお招きし、定員40名で受講希望を募り開催しました。

小西先生は世界ラン展日本大賞フラワーデザイン部門総合最優秀賞はじめ全国技能グランプリフラワー装飾第3位、フラワードリームJC全国東京大会総合2位、グランドチャンピオン選手権優勝、ワールドフラワーアートコンテスト第3位など輝かしい受賞歴をお持ちで、全国をデモンストレーションして飛び回っておられます。

この度はデモンストレーションのほか、過去の受賞作品もご紹介いただき、受講者はトップレベルのテクニックを真剣なまなざしで追いかけていました。小西先生は「身边にあるもの、何気ない花材も見せ方、アレンジによって付加価値をつけることができる。」と経営の示唆をされた。



優良従業員表彰について

組合員の事業所に従事されている従業員の方の優良従業員表彰を実施いたします。

組合理事長表彰は、組合員の同一事業所に10年以上勤務されており、勤務成績が特に優秀で他の模範となる方(家族従業員及び役員もしくは管理職。過去に表彰を受けられた方を除きます)です。表彰対象となる従業員の方がいらっしゃいましたらご推薦をお願い申し上げます。

詳しくは組合事務局へお問い合わせください。状況によっては広島市長表彰に推薦いたします。

令和4年度組合役員の選任について

令和4年度花き商組合では、役員の改選期にあたっており、今年開催予定の第30回通常総会に於きまして役員の選任を行う必要がございます。

役員の選任につきましては、令和2年度第28回通常総会(書面決議)にて定款変更及び役員選任規約が承認され、従前の選挙の方式から推薦会議による候補者の推薦と推薦された候補者の承認という形になっております。

つきましては推薦委員の選出、ご承認につきご協力をお願い申し上げます。

SP菊は、輸入マレーシア産が、65%を占めています。コロナ渦での、現地の状況が改善されていない事、物流費高騰が高止まりしている事、円安進行での輸入に、折り合いがついていない事、世界情勢が不安定な事、等々から、注文分の数量は、確保できていますが、競り委託販売分は、通して多くは見込めないと予測しています。

SPカーネーション、コロンビア産についても同様で、輸入品目の状況は、各商社共に、不安定な状況が続くと報告を受けています。商社は、これまで多くの飛行機で、輸入していましたが、物流費高騰のあおりを受けて、取り扱いを断念せざるを得ない状況になっているのも事実です。一部、物量を確保する為に、SP菊を中心に船便での対応を行っていますが、品質面での、懸念もあります。市場到着後の、検品に注力していきたいと思っています。

更には、輸入船便において、航路気象状況により、延着する可能性が見込まれます。ご注文頂いた納品日に間に合わない可能性がある事も、何卒ご理解頂ければと思います。商社との物量連絡を密に行い、集荷に繋げていきたいと考えています。

大菊の国内産は、九州が中心になります。福岡県八女では、白大菊からSP菊や、他の農産物への転作が見られます。全体では、微減の生産量になっています。全般に前進開花傾向が見られる為に、10日(水)・12日(金)は、品薄感になると予測しています。

小菊は、広島県北部産(三次・西城・東城・大和町)、南部産(江田島市)で、需要期の35%、岩手県産で50%、奈良、鹿児島、長崎県産で、10%、他5%を占めています。今のところ、岩手県産は生育順調ですが、輸送費高騰のあおりを受けています。岩手県から、大型車1台を陸送させると40万円程の費用がかかる為に、7月下旬からの、相場展開次第で、入荷するか、しないかの状況になると予測しています。注文分の確保手配を行っていますが、競り委託分の出荷は、少ないと予測しています。岩手県産以外は、前進生育傾向になっている模様です。8日(月)をピークに予測しており、10日(水)、12日(金)は、品薄感が出ると予測しています。

りんどうも、岩手県産については同様で、競り委託分に関しては、7月下旬の相場展開次第で、入荷するか、しないかの状況になると予測しています。

けいとうは、徳島、福岡、島根県産の入荷が中心。7月中旬に雨と、曇天の影響で品質低下、下位階級の入荷が多くなると予測している。赤中心でピンクやオレンジ系は少ない。前進気味なので8月8日(月)以降は品薄感を予測している。

パンパスは、福岡、静岡県産中心で、生産者が減少している。出荷するまでの手間がかかる事と、7月下旬の天候により、品質管理が大変な事が、生産減少の要因になっていて、単価低迷になると、更に生産減少に追い打ちをかける品目もある。

榊は、生産減少に拍車がかかっている。入山出来ない事と、生産者の高齢化による事が、主な原因で、今後も国産榊は、減少傾向に歯止めがかからないと予測しています。遠方産地からだけでなく、輸送費高騰が入荷に大きく影響しています。

競り委託分は、需要期前(7月下旬)の販売単価が需要期の入荷に大きく影響してきます。市場として、需要期に向けて集荷、入荷の為の努力を最大限行い、皆様にご提供できるように努力して参ります。

輸入品は、引継きコロナウイルスの影響と、円安、不安定な世界情勢の影響で、入荷から、納品に際して、ご迷惑をおかけする場面が出てくる可能性があります。

何卒、ご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。

(株)花満	営業部 本部長	竹原 裕
	営業部 副本部長	井上 博英
	切花部 部長	杉本 浩一

(株)花満 切花加工のご案内

(株)花満では、組合員の皆さんに切花加工のサービスを提供することとなりました。

ご提供する切花加工のパターンは加工済みの花束をご提供するパターンと原体持込のパターンの2種類です。

原体持込の場合も含め、加工費は、3本束40円(税別)・2本束40円(税別)です。

加工済み商品のアイテムは仏花(大菊セット、小菊セット(=物日のみ))洋花(スプレーギク、スターチス、リンドウ、スプレーカーネーション)です。発注ロットは1アイテム50束(物日は100束)で、物日需要の受注は約1ヶ月前を目途に締切が設定されます。

なお金額等詳細は、(株)花満に直接、お問い合わせください。

青年会通信

青年会 活動報告



青年会員募集中!

花卉業界の次世代を担う若者を募集しています。40歳までの生花・造園・園芸各事業所の経営者、従業員の方対象です。勉強会や研修会などいろいろな行事を予定しております。楽しみながら業界を発展させてていきましょう!
インスタグラムはじめました。フォローしてみてください。
入会ご希望の方、ご推薦等詳しくは組合事務局まで。



事務局より

① 新規組合員募集 お知り合いの加入希望者の紹介をお願いいたします!! 詳しくは事務局まで

② 異動・変更が発生しました際は、事務局へ連絡をお願いいたします。代表者・住所・電話・FAX・組合費引落し口座 等